

はじめに

青森県水産試験場は明治33年4月に業務を開始し、今年で丁度70周年を迎えたことになります。

この70年間水産試験場が歩み続けた足跡を顧みると、県水産界に尽した功績は大きいものがあると考えますが、時代の進展と共に、水産業の発展はもとより、これを取まく諸情勢ならびに環境の変化は目まぐるしいものがあり、これに対応する試験場の姿勢は果してこれでよいか、ということを思うとき聊か明快な回答を出すことができない現状です。

何と言っても試験研究は漁民のためになることが目的であり、このためには職員の質の向上、研究施設、事業費、環境の整備がともなわなくてはなりません。今年度の事業概要是、これから新しい研究体勢を築くための第1歩として、「今後の課題」を特に取上げました。各位の御叱正をお願いいたします。

昭和45年8月

場長 馬場勝彦